

① 現地調査



1 目的

令和7年3月23日発生の今治市林野火災復旧にかかる現地調査を行い、被害の実態把握及び今後の事業採択を検討する。

2 現地調査日時等

令和7年4月17日(木)・21日(月)・5月12日(月)
林野庁、四国森林管理局、愛媛森林管理署の治山担当職員等による現地調査

3 調査内容

- (1) 溪流等の荒廃状況による谷止工等の検討
- (2) 降雨期を迎えるにあたっての応急対策の検討

4 調査結果

地表面や樹木の焼損程度、溪流部の土砂流出状況、保全対象、既設谷止工等を考慮した結果、早急な対策が必要であると判断した溪流について、経常予算による大型土のうでの応急対策と災害関連緊急事業による谷止工を実施することとした。

② 事業計画



1 事業名

令和7年度 医王山(1057) 災害関連緊急事業外

2 箇所名

今治市長沢医王山国有林1057林班

3 主な対応工種

谷止工、大型土のう

4 進捗状況

- ・必要な予算を検討中
- ・応急対策の契約事務を実施中



2. 令和7年今治市林野火災への対応について（森林林業課）

① 現地調査



1 目的

令和7年3月23日発生の今治市林野火災復旧にかかる現地調査を行い、被害の実態把握及び今後の事業採択を検討する。

2 現地調査班について

ブロック別調査班：5班（県下林業職員37名）

3 調査日時

令和7年4月7日（月）～8日（火） 2日間

1日目：調査内容打ち合わせ、現地調査

2日目：現地調査、作図等とりまとめ

4 調査内容

(1) 渓流等荒廃状態による谷止工等の検討

(2) 山林焼損状態による山腹工、緑化工等の検討

5 調査結果

渓流の土砂流出状況や上流部における焼損程度、保全対象等を考慮し、早急に復旧対策が必要な箇所を洗い出す作業が完了した。

② 事業計画

【対策イメージ】



1 事業名

令和7年度 災害関連緊急治山事業

2 箇所名

今治市長沢 地内

3 主な対応工種

谷止工

4 進捗状況

- ・ 予算措置を検討中
- ・ 森林所有者の施行意向確認中



事業計画

- 事業箇所（2溪流（4箇所））5月26日事業採択
 今治市朝倉北：緑ヶ丘団地
 - ・朝倉北101号谷-1
 - ・朝倉北101号谷-2
 今治市長沢：岡谷集落
 - ・岡ノ谷川-1
 - ・岡ノ谷川-2

- 事業工程（予定）

第1 四半期	測量・地質調査・設計に着手
第2 四半期	設計等に並行して用地調査・地元説明会開催
第3 四半期	用地交渉
第4 四半期	工事着手

災害関連緊急砂防事業

当該年発生の上山火事等により流域が著しく荒廃したもので、放置すれば次の出水により容易に流下し、下流に著しい土砂災害を及ぼす恐れがある場合に、緊急に対処するための砂防設備の設置を目的とする。



【対策工のイメージ（砂防堰堤）】

その他

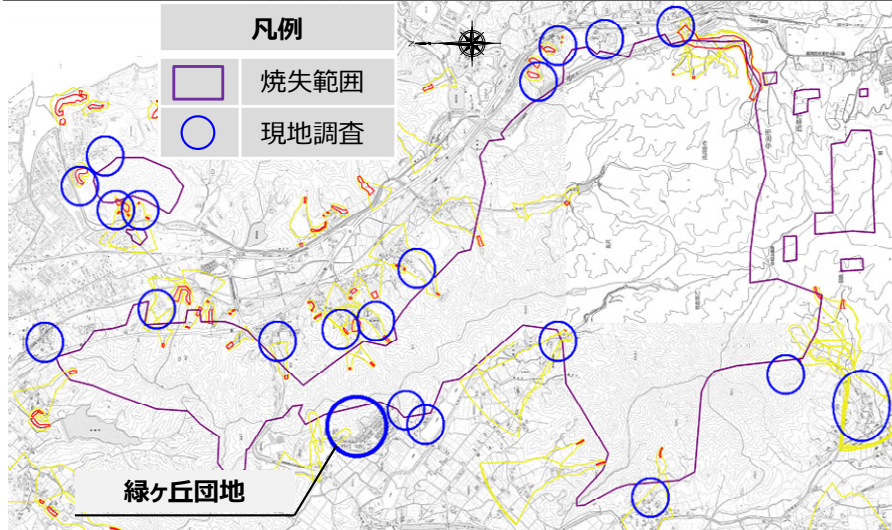
- 防災パトロール
 （「防災対策強調月間」、「土砂災害防止月間」）を6月下旬に予定
 - ・県、市、消防等で『緑ヶ丘団地』をパトロール（調査）
 - ・自治会長等に危険な状況のアナウンス
 - ・マスコミへプレス予定

4. 復旧・復興に向けてのこれまでの対応について（今治市 建設部、産業部）

① 防災対策検討チームによる現地調査（4月9日、10日）

◆ 延焼区域と民家が近い箇所の現地調査（21箇所）

・インフラへの影響、人家への影響は見受けられなかった



② 詳細調査・応急対策（緑ヶ丘団地裏山）

◆ 人家と近接している緑ヶ丘団地裏山について詳細調査を実施

- ・全体の焼失厚（灰の厚み）は約1cm程度であり、落ち葉の上に灰が堆積している状況
- ・流域面積は小さいが、降雨により灰が民家へ流出する懸念あり

◆ 梅雨を迎えるまでの応急対策

- ・水路全体の土砂撤去(対策①)
- ・谷部4箇所にて灰や土砂の流出抑制のための土のう(対策②)、民家への越水抑制のためのまくら土のう(対策③)を設置

◆ 降雨時の巡回、追加対策

- ・適宜、水路内の土砂撤去や異常箇所の対策を行う予定

③ 応急対策状況（緑ヶ丘団地裏山）

